



平成23年4月26日

各 位

会 社 名 堺 化 学 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藪 中 巖
(コード番号 4078 東証・大証 各第一部)
問 い 合 せ 先 取 締 役 総 務 部 長 石 井 英 明
電 話 0 7 2 (2 2 3) 4 1 1 1

東日本大震災による影響について(第四報)

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により被害を受けられました皆様に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地におかれましては一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、本日時点における当該震災による当社の状況につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業所および工場の操業再開について

当社では、4月初旬迄に、地震により損傷した小名浜事業所、湯本工場および大剣工場(いずれも福島県いわき市)の建屋・設備の復旧をほぼ終了しておりましたが、福島県の工業用水配管に4月11日、12日の大きな余震による新たな漏水箇所が発見されたため、工業用水は4月22日から給水再開となりました。

その結果、上記事業所等の操業は以下のとおりとなりました。

①小名浜事業所(酸化チタンならびに硫酸バリウム・炭酸バリウムなどのバリウム製品)

4月24日より操業を再開いたしました。なお、酸化チタンにつきましては、5月以降の工業用水(海水)の復旧をまって本格操業となる見通しです。

②湯本工場(酸化亜鉛および亜鉛末)

既に4月初旬に操業を再開しました。11日の停電により一時操業停止となりましたが、19日より操業を再開しております。

③大剣工場(誘電体材料およびFPD用蛍光体材料)

誘電体材料につきましては、4月初旬より順次操業を再開しておりましたが、25日より本格操業いたしました。なお、FPD用蛍光体材料につきましては、既に4月初旬より本格操業いたしております。

2. 業績への影響

当該地震による損傷の復旧工事、被災した棚卸資産の処分ならびに地震発生時から3月末日までの操業停止に伴う損失等は、約13億円を予想しており、平成23年3月期の決算に反映させる予定です。なお、4月1日以降の操業停止による業績への影響につきましては、改めてお知らせいたします。

以 上